

日本で最も美しい村

曾爾村

SONI VILLAGE

ぬるべの郷

曾爾村村勢要覧

発刊によせて

雄大な自然美と忘れかけた懐かしさを存分に楽しめる「ぬるべの郷曾爾村」。



曾爾村長 芝田秀数

目を閉じ、耳をす

ませば、風のざわめきや水のリズムが私たちを心地よくつつんでくれます。

何千年も変わらずにささやきかける大自然の歌。都会の喧騒とは無縁の穏やかな時の流れが今も「曾爾村」には息づいています。

古から何世代にも渡り人々は力を合わせ、豊かな自然と先人より受け継がれてきた伝統や文化を守り、個性ある「曾爾村」の発展のために、知恵を絞り、汗を流し、「未来に誇れる村づくり」を進め、次世代へと繋いできました。

そのような「曾爾村」の魅力と村づくりのプロモートを皆様にご理解いただき、一層のお力添えを賜れば幸いです。



しい村からの 創生

が参加し、められていく曾爾村の今。村で繰り広げられる姿を伝えます。



EDUCATION



CONTENTS

- 4 曾爾村からあなたへ
- 6 創業をめざす、地域の力
- 8 イノベーションを引き起こす農業
- 10 付加価値を創造する林業
- 12 多様なプレーヤーが集う「賑やかな過疎」へ
- 14 曾爾村でしかできないオンリーワンの教育
- 16 地域資源の価値を体感する観光
- 18 時を駆けるムーブメント
- 20 小さくとも光輝く、オンリーワンぬるべの郷 曾爾村
- 22 Village Guide

日本で最も美 地方

多くの住民
一人ひとりの力によって高
小さな、美しい農山
地域づくりの

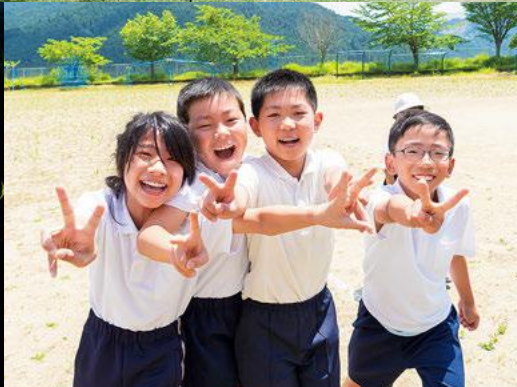


曾爾村から あなたへ

日本の原風景が残る美しい里山、曾爾村。
おだやかな時間の流れと共に
古き良き暮らしが息づいた
村のぬくもりをあなたへ届けます。
高原からのやさしい風にのせて。



1. 緑のじゅうたんを敷き詰めたかのような
曾爾高原の夏 / 2. 1本の木から3色の花
が咲く不退寺の「源平しだれ桃」 / 3. 冷涼
な空気に包まれた済浄坊の滝 / 4. 奇峯が
そびえ山桜が満開の屏風岩公苑 / 5. 県の
天然記念物に指定されている門僕（かどふ
さ）神社のお葉付きイチヨウ / 6. 曾爾川全
域で見られるホタルの舞 / 7. 秋を彩る曾
爾高原のススキ / 8. 激しい火山活動の跡
を残す鎧岳（高さ894m）





創業をめざす、 地域の力

自分たちが望む村の未来に向けて
村に関わる一人ひとりが力となり
地域にイノベーションを起こしていく。
小さくとも光輝くオンリーワン
ぬるべの郷曾爾村のエネルギーです。

1

曾爾街道風景づくり隊

曾爾街道風景づくり隊は平成24年に結成され、歩道・分離帯を利用した花街道づくりや、休耕地を利用してフジバカマ植栽地を整備する活動を行い、村内に美しい道路景観を生んでいます。



2

米焼酎づくり

平成28年、農事組合法人「ゆめの里かずら」が設立され、曾爾のブランド米と鎧岳からの湧き水を使い、焼酎の製造に着手しました。より多くの人に届けるためのコンテンツづくりに取り組んでいます。



村全体と地域住民が 創業をめざす

村には、9つの集落(大字)ごとに自治会があり、それぞれの単位での結びつきが強く、清掃活動や自主防災活動などの地域活動を行っています。特に平成27年度から「曾爾村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に「地域イノベーション・プロジェクト」を盛り込み、地域資源を活かした特産品開発や仕事の創出に取り組んでいます。地域住民も創業をめざすことで、各地区に個性が生まれています。

4

薬草の生産

漢方薬などに使われるセリ科の薬草「大和当帰(やまととうき)」を栽培しています。



クリスマスローズの栽培



「横輪クリスマスローズの会」によって栽培され、見頃となる2月～3月には県道沿いが黄色や白、ピンクで彩られます。

3

味噌の製造

農産物加工所「あゆみ会」を設立し、添加物などを一切使用しない製造工程を守りながら、郷土の気候風土を醸し出す味噌を作っています。



名水を使った玄米珈琲



「太良路名水研究会」を立ち上げ、ブランド米の玄米と曾爾高原の湧き水を使い、体にやさしいコーヒーを製造しています。

8

掛農林水産物直売所

観光シーズンに合わせて、地元産の旬の農産物を販売しています。地産トマトや食品の加工品なども好評で、地域住民だけでなく、村を訪れる人の立ち寄りスポットになっています。



9

めだかを飼育



伊勢本街道山粕宿の中央に位置する街道を「めだか街道」と呼び、めだかを飼育しています。40種類を超える品種がそろい、飼育のノウハウを確立。愛好家からも好評を得ています。



~~~~~

屏風岩の麓に長野生産加工組合「びょうぶ★山桜の郷」を設立し、味噌の加工・販売やこんにゃくの栽培・加工・販売をしています。無農薬のこんにゃく芋で、昔ながらのシンプルな方法で手作りしています。



7

## こんにゃく・味噌づくり



~~~~~

6

ゆず加工品の開発

曽爾高原ゆず生産組合「たわわ」を運営。ゆず果汁100%の「ゆず搾り」や「ゆずポン酢」「ゆず胡椒」など、加工品の製造が軌道に乗り、村の特産品として定着しています。



5

漆の復興



漆塗り発祥の地という歴史ある伝統の地の復活をめざし、平成17年に「漆ぬるべ会」を発足。「ぬるべの郷 漆工房」を整備し、曽爾村産の漆の育成、植樹、漆かき、漆芸品の製作などに取り組んでいます。



イノベーションを 引き起こす農業



曾爾村では古くから農業がとて盛ん。評判の高いほうれん草やトマトをはじめ環境に配慮したブランド米、葉草発祥の地として名高い大和当帰など多くの農産物を創出しています。

山からの湧き水と寒暖差のある気候を活かした「曾爾米」は、国内最大の米コンクール「米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」で特別優秀賞を受賞。



曾爾村農林業公社では、農林業を軸にした持続可能な村づくりをめざし、新規就農者への農地のマッチング、高齢農家の農作業受託、有利販売できる販路構築など、担い手が安心して農業を続けられるよう生産・販売両面で支援しています。



農家の協力により、村の子どもたちが農業について学ぶ機会を提供しています。生産者の苦労や自然の尊さを学び、食べ物へのありがたみを深め、創造性を高めるきっかけとなっています。

農希望者を募り、農林業公社を中心に若手農家の育成に取り組み、農業を盛り上げていきます。

おいしさに定評のある曾爾村の野菜。主要作物であるほうれん草やトマトの安定生産に努めるとともに、一般社団法人曾爾村農林業公社が曾爾米ブランド化協議会などの地域団体との連携のもと、農産物の販路開拓とブランド化を進めています。オンラインストアで全国の消費者に届けられている他、卸売市場などと連携して、奈良県内外のホテル、飲食店、小売店に村の野菜を提供しています。また、地域おこし協力隊制度を通して就

歴史ある基幹産業の
活性化に向けて



規格外トマトの有効活用で、近畿大学農学部の学生などと連携して開発したオリジナルトマトソース。



村の農業の未来を担う若手農家の挑戦が続いており、有機栽培などによる多様な農業活性化の動きもあります。



水菜

葉もの野菜の中でも成長が早く、曾爾村の気候に適した水菜は主に夏に出荷します。主な品種は「千筋水菜」と「京みぞれ」で、生のままでサラダがおすすめ。

冬の間だけ寒さにさらして糖度を上げた「大和寒熟ほうれん草」は曾爾村だけのオリジナルブランド。えぐみがなく、驚くほど甘いのが特徴です。



田合松夫さん

大和寒熟ほうれん草



小松菜

2~4月頃に育てられるため、寒さで糖度が上がり、甘いのが特徴。おひたしや炒め物、和え物など幅広い料理に使えます。



曾爾高原トマト

生産者の高齢化が進む中、地域おこし協力隊制度を活用した新規就農者の育成に取り組み、甘みと酸味のバランスが良い昔ながらの味を継承しています。



寺前健史さん



春菊

大和の伝統野菜「大和野菜」で、独特の香りが特徴。鍋やすき焼き、サラダにすると良いアクセントになります。



榎の実

「そののわの台所katte」は、農家や地域住民が加工品開発や販売に取り組めるシェアキッチン。食を通して人と人をつなぐ場となっています。



大和当帰

歴史ある大和当帰はクラフトコーラの原料に使われるなど開発が進んでいます。／榎の実はローストナッツなどの加工品に。／大切な地域資源のゆずは、特産品開発のチャレンジが続いています。



井上善富さん

ゆず



付加価値を 創造する林業

山林の荒廃をなんとかしたい。
そんな想いを胸に、
曾爾村へやってきた人もいます。
ベテランや若手、官民が一緒になり
山づくりから始まる、
新しい林業の形を探っています。



曾爾村森林組合は、漆の森づくりを進める村のプロジェクトに賛同し、森林組合の一事業として漆の植栽・生育管理に取り組んでいます。将来的には、苗の生産や流通事業も視野に入れています。



曾爾村森林組合では定期的に木材展示即売会を開催している他、後継者育成や森林保全事業などを進め、森林整備の担い手となっています。

森林の多面的な活用

曾爾村の強みは美しい景観にあります。その景観価値をより一層向上させるため、森林組合などと連携し、漆やキハダなどの植樹を行い、特色ある森づくりに取り組んでいます。地域おこし協力隊制度などを活用した新規事業者の育成も進めています。また、森林資源の利活用面では、「曾爾村里山再生事業」や「山と漆プロジェクト」、薪ストーブ・石窯・薪ボイラーなどエネルギーとしての導入支援、木育プログラムの開発・実践などを通じて、森林資源の幅広い利活用を推進していきます。



曾爾村農林業公社では、薪ストーブの展示や薪の製造・販売を実施。森が持つ多様性を伝えています。



曾爾村里山再生事業

里山林で放置され、適切に管理されていない立木を伐採し、景観の良い里山形成をめざしています。また、木材の流通を促進し、林業事業者の確保に努めています。



多様な プレーヤーが集う 「賑やかな過疎」へ

野菜づくりを通して
感動を共感してほしい

旬の野菜の収穫体験などができる「BABA (ばあば) ガーデン」を開設しています。体験では収穫するだけでなく、野菜が育つ過程を肌で感じることができます。畑に入ること土を感じてもらったり、虫がいる野菜を見てもらったりして、自然の中で「ゆったり」感じてほしいですね。収穫後は採れたての野菜でピザやカレー、みそ汁などを作っています。野菜を作り、味わうことを通して、感動を共感してもらえたらと思います。季節の野菜を楽しんでリピーターになってもらい、「ばあば元気かな」と顔を見せてくれるような関係になれればうれしいです。



地域おこし協力隊制度を活用して、令和3年に横浜から曽爾村に移住し、SONI SUMMITを設立しました。移住定住支援を軸に、住まいや仕事の紹介、村内外をつなぐ交流の場づくり、移住後のサポートなどを一元化し、相談からスムーズな定住に至るまでを村と連携しながら支援しています。村内の住宅や仕事の情報を「見える化」していく中で、自然資源あふれる曽爾村だからこそ、発展できる産業があると感じています。曽爾村で新しいことにチャレンジしたい人、おもしろいことをしたい人の力になっていきたいです。

村の資源を活かし
どんどんPRします



一人ひとりが想い描く、 曽爾村の未来



県外のカーディーラーに勤めていたのですが、家業(車の販売や整備)を継ぐためにUターンしてきました。村では保育所や小中学校が近く、子どもたちが工場の前を通るときにあいさつしてくれるので、元気をもらっています。車以外に草刈り機などの農機具の整備も扱っているのですが、そこでは地元の人との関わりが深いです。これからもお客様との会話を大切に、かゆいところに手が届くような仕事を心がけていきたい。仕事や地域の活動を通して、地元に関わっていきたくと思っています。常に地域密着型でありたいですね。

地域密着型で
地元の役に立ちたい

Uターン

高山 力さん



北口 直子さん

BABA (ばあば) ガーデン



菊原 一仁さん

一般社団法人
SONI SUMMIT



曾爾村の魅力はなんといっても緑の多さです。曾爾高原をはじめ、屏風岩や鎧岳、兜岳など、自然の豊かさが魅力。加えて、300年以上も続く「曾爾の獅子舞」といった歴史深い伝統芸能もあります。秋の観光シーズンをはじめ、年間を通して各地から多くの方が来村されますが、村内の観光事業者の活気につながるよう、観光協会としても努力していきたいです。特に人気がある曾爾高原については、スキの生育といった面にも取り組んでいきたいと考えています。みなさんに来ていただけるようなイベントも開催して曾爾村を盛り上げ、今後も発信していきます。

曾爾村を盛り上げ
さらに活気づけたい

子どもからおとなまで一人ひとりのエネルギーがむらづくりの力。さまざまな職種を持つ人が地域に溶け込み多様なプレーヤー（人材）が交わっています。



豊かな自然の中で
のびのびと育ってほしい

地域おこし協力隊への応募をきっかけに愛知県から移住してきました。古民家を購入し、壁に漆喰を塗ったり、棚や家具を作ったりと、理想の家をめざしてリノベーションしながら暮らしています。村での生活で印象的なのが長女の保育園。都会にはないゆったりとした環境のもと、子どもたちはのびのびと育っています。「今日はツバメが飛んでいた」「栗が落ちていた」と、四季折々の風景を園から帰ってきた子どもが話してくれます。草花や昆虫、星空に興味を持ち、自然が大好きな子どもに育っています。たくさんの自然とふれあう中で、子どもたちのこれからが楽しみです。

今までの学校生活で楽しかったことは、「そのわこどもマルシェ」に参加したことです。自分で考えたことを発表し、チームに分かれて意見を出し合いました。規格外の野菜を使って、みんなのアイデアでマフィンやバーガー、パフェを作って販売しました。私たちはチームワークがとても得意だなと感じました。曾爾村に住んでいて好きなことは、地域のおじいちゃんやおばあちゃんとお話すること。学校のできごとを話すのが楽しいです。曾爾川で友だちと遊んだり、星空を観察したりすることも大好きです。将来の夢は女子サッカー選手です！

学校の授業で
地域の人と交流したい



南達司さん

曾爾村観光協会



出口 恋波さん

こっは

曾爾小中学校7年生



山本さんご家族

愛知県から移住





曾爾村でしか できない オンリーワンの 教育

保護者に寄り添い、発達状況に応じたきめ細やかな保育を行う曾爾保育園。和太鼓の学習も取り入れ、向上心や表現力などを身につけることに加え、健康的な体づくりに繋がっています。



豊かな自然と文化、
あたたかい人々との絆を大切に
曾爾ならではの教育のもと
子どもたちは日々育つています。
心豊かに元気でいきいきと
瞳輝く子どもたちの声。
今日も明るくきらびやかに
ふるさとにこだましています。



「そののわこどもマルシェ」では、農家や地域の人とふれあいながら、廃棄野菜や規格外野菜を活用したオリジナル商品を開発・販売しました。

9年間の学びで たくましく育つ 子どもたち

令和2年4月、施設一体型義務教育学校「曾爾村立曾爾小中学校」がすばらしい教育環境の下に開校しました。義務教育学校9年間の学びの中で、子どもたちが大きな夢を抱きたくましく育つことを目標に、曾爾村でしかない「オンラインワンの教育」を実践しています。中でも、奈良教育大学との連携によるサマースクールなどの取り組みや、伝統芸能「曾爾の獅子舞」や「村の自然を活用した物づくり」などを取り入れた「ふるさとタイム」(総合的な学習)は、学習活動やその成果が県内外で広く知られています。



9年間の一貫した教育の中で、幅広い年齢層による豊かな学びの場を整えています。教師一人ひとりが児童・生徒と深く向き合い、細かなところにも目が行き届く、村ならではの教育環境です。



奈良教育大学によるサマースクールやウインタースクールで理科や数学(算数)の特別授業を実施。ふるさとタイム(総合的な学習)では、自然や文化を学び、人との絆を深めています。



INTERVIEW



子どもたちに郷土の 伝統文化を継承

木治 正人さん

曾爾小中学校では「ふるさとを見直し、ふるさとを愛する」をテーマに「ふるさと学習」が実施されています。7～9年生の生徒が伝統ある「曾爾の獅子舞」を体験・学習し、私はその指導者として関わっています。練習時間が少ない中、舞を上達していく生徒たちの姿はみごとなもの。いつの日か、生徒自らが指導者や継承者となり、曾爾小中学校独自の演目が確立できることを願っています。





地域資源を 体感する観光

ここは日本で最も美しい村。
奥香落の雄大な自然に抱かれながら、
集落には人々のぬくもりが漂い、
今日を幸せにしてくれる高原リゾートです。

曾爾高原 ファームガーデン

曾爾高原の入り口にたたずむスポット。「すすきの館」では地元の新鮮野菜を使った料理を味わえます。



曾爾高原 麦の館

ドイツのマイスター直伝の製法で仕込む「曾爾高原ビール」が毎日作られています。

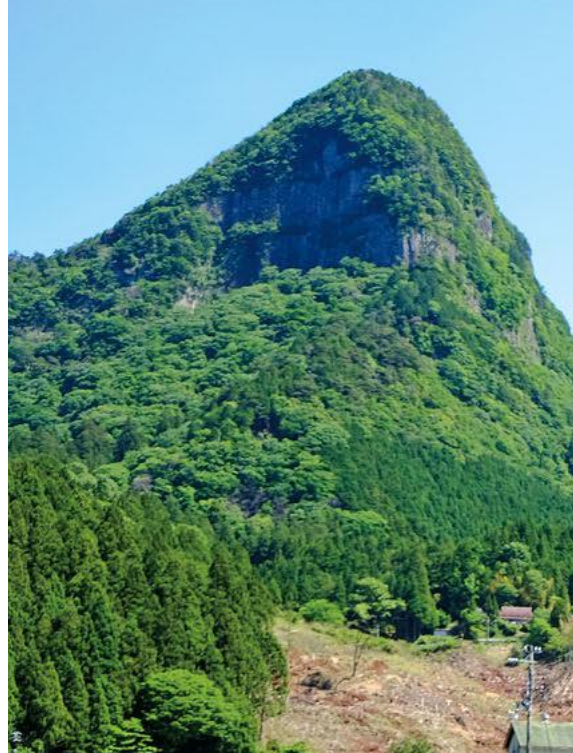


曾爾高原 お米の館

村で収穫したお米を使ったパンの販売とパン作りが体験できます。お米パンはもちもちとしてやわらかな食感で、小麦粉のパンに比べて低カロリーが特長です。

観光による地域産業の振興をめざして

東京から約4時間、大阪から約1時間50分、奈良から約1時間で訪れることができ、奥大和を探索したい旅行者に人気の秘境、曾爾村。NPO法人「日本で最も美しい村」連合に承認され、今も日本の原風景が残る美しい里山です。年間約52万人(平成30年度)の観光客が曾爾高原をはじめとする自然景観を求めて訪れます。森林セラピーやトレッキングコースの整備、近隣市町村と広域連携を視野に入れた観光、コミュニティ・ツーリズムなどを推進し、観光誘客を図っています。



SONI GATE 山粕宿

山粕地区にあるゲストハウス。「無機質」が空間コンセプトで、「生きた自然が多く残る曾爾村をゼロの状態から感じてもらいたい」という想いを込めています。



一般社団法人 そにのわGLOCAL

地域の人と交流しながら食や文化を深く知る体験プログラムを官民連携で提供しています。プログラムの実施にあたっては、地元の農家やガイドなどの地域住民と密接に連携し、国内外の旅行者を迎えています。

滞在型市民農園 クラインガルテン曾爾

屏風岩や古光山を望める見晴らしの良い自然の中で農業体験ができます。草花や野菜作りなどの他、農村生活を満喫する癒やしの空間です。



奥香落オートキャンプ場 サン・ビレッジ曾爾

緑あふれるオートキャンプ場で、コテージサイトからは曾爾村を一望できます。自然を満喫できる高原リゾートです。



曾爾高原温泉 お亀の湯

野趣あふれる天然風呂「石の浴室」と、やさしい木のぬくもりを感じる「木の浴室」があり、曾爾を代表する兜岳や鎧岳、曾爾高原が望めるパノラマ露天風呂です。



時を駆ける

曾爾村の歴史・文化

ムーブメント



獅子踊り



奈良県無形民俗文化財 曾爾の獅子舞

曾爾の獅子舞は、享保3年（1718年）に五穀豊穡と安全祈願のために神前に奉納したのが始まりといわれ、伊勢大神楽の流れを受け継いでいます。江戸時代から300年の歴史がある曾爾の獅子舞は、毎年10月に「郷土芸能発表会」として門僕神社境内で演じられています。現在、3大字（長野・今井・伊賀見）が獅子舞を継承しています。「参神楽」「獅子踊り」「接ぎ獅子」など種類の豊富さと芸術性が高く評価され、昭和54年に奈良県無形民俗文化財に指定されました。



接ぎ獅子



参神楽

国の史跡 伊勢本街道

伊勢本街道は、神宮を伊勢に祀った倭姫命(ヤマトヒメノミコト)が大坂から伊勢に向かった際に通った道といわれ、お伊勢まいりが一般的となった江戸時代には奈良から伊勢に至る最短コースの道として多くの旅人でにぎわいました。伊勢本街道が通る曾爾村山粕は宿場として「奥宇陀の大坂や」といわれるほど大変栄えていました。

令和3年には、伊勢本街道「山粕峠」と「鞍取峠」が街道の痕跡が残存している貴重な遺跡であるとのこと、国の史跡に指定されました。



漆塗り発祥の地 ぬるべの郷

平安時代の古文書『伊呂波字類抄』によると、倭武皇子が曾爾の地に「漆部造(漆を司る官)」を設置したことが日本の漆塗りの始まりといわれています。これが現在の曾爾村を表す呼び名「ぬるべの郷」の起源です。

平成17年に漆塗りの文化と技術の復活を目的に「漆ぬるべ会」が発足。「ねんりん舎」を拠点に曾爾の漆を発信し、SDGs(持続可能な開発目標)の活動としても注目されています。曾爾村森林組合と村が協定を組み、林業のプロの観点からも漆の植樹や育林活動を行っています。



Urushi Base Soni NENRIN (ねんりん舎)

平成29年度に塩井地区の古民家を改装し、漆塗りの文化と技術の伝承の拠点として整備。工芸品の展示や販売、ワークショップなども行っています。



小さくとも光輝く、オンリーワン ぬるべの郷 曾爾村



このすばらしい曾爾村を
未来へと引き継いでいけるよう、
村民一丸となって夢を持ち、理想を掲げ
自信と誇りを持って
持続可能なむらづくりを進めます。

政策目標 1

賑わい、食の魅力 あふれる曾爾

産業振興の分野で、「曾爾の観
光ブランディング」「風土を生か
した農業の振興」「林業の再生・
再構築」「商工業の振興と起業支
援」を基本施策として進めます。
豊かな自然環境や培われてき
た技術を生かし、既存産業の継
承・発展を図るとともに、都会と
遜色ない情報通信環境や、曾爾
高原の地域ブランドを生かし、市
場競争力のある新しい産業・雇用
の創出をめざします。



そこのわマルシェの開催



農業の担い手(若手の農家)



百歳体操(山粕)



曾爾村国民健康保険診療所

保健・医療・福祉の分野で、「地
域福祉の推進」「高齢者支援の充
実」「障がい者支援の充実」「保
健・医療の充実」を基本施策とし
て進めます。
豊かな人間関係のもと、一人ひ
とりが自分自身の健康づくり・生
きがいづくりに果敢に取り組み、
障がいや病気、生活困窮など、支
援が必要になったときに、適切な
支援を受け、自立して生活を送
れるむらづくりを進めます。

政策目標 2

誰もが健やかに 安心して暮らせる曾爾

政策目標

3

学びと交流で明日の
人材を育てる曾爾

学習・スポーツの分野で、「地域で支える子育ての推進」「学校教育の充実」「生涯学習・文化・スポーツの振興」「人権の尊重と男女共同参画の推進」を基本施策として進めます。

学校・保育園と家庭、地域が一体となって子どもたちの個性や能力を最大限伸ばす教育を推進するとともに、大人も子どもも郷土に誇りを持ち、お互いに認め合い、尊重し合い、学びやスポーツ、文化・芸術を楽しみ、交流するむらづくりを進めます。



曾爾保育園



美しい村の景観保全



移住希望者へのお試し住宅事業



政策目標

4

安全・快適に暮らせる
利便性の高い曾爾

生活基盤の分野で、「コミュニティの振興と定住の促進」「生活安全対策の強化」「交通基盤の確保」「環境の保全」を基本施策として進めます。

環境にやさしい生活様式の実践や、地域ぐるみの生活安全対策、インフラの適正管理などを通じて良好な生活環境を保全し、村民がいつまでも住み続けたいと感じ、移住者が住んで良かったと思えるむらづくりを進めます。



防災訓練



曾爾村議会執行部側



曾爾村議会

村議会は、7人の議員で構成され、議案や陳情などを審議、議決し、村の方針を決定しています。議会は、村長が招集し、年4回の定例会と必要ときに臨時会を開きます。また、内部機関として常任委員会を設置し、合理的、専門的に運営されています。

議会

VILLAGE GUIDE

私たちの心の拠り所
ふるさと曾爾村。
美しい農山村の景観と
文化を守る人々とふれあえば
きっとあなたも
曾爾の心と出会えます。



村章

曾爾村の頭文字の「そ」を図案化したものです。円の部分は、村民全体の団結と明るい村づくりの姿をあらわし、上の部分は更に発展してゆく曾爾村の息吹きを表徴しています。

曾爾村民の歌

作詞 萩原四朗 / 作曲 上原賢六

- 一、ぬるべの里に夢はあふれわき
明日をきずきゆく若人の村
おお、大和の国 我らすむ曾爾
- 二、若あゆのせて水はしぶきあげ
山はむらさきに霞ふるむら
おお、奥香落の花かおる曾爾
- 三、春日の月に父祖の恩をしり
伝え継ぐちかい高らかな村
おお、伸びてやまぬふるさとの曾爾



村の花 つつじ



村の木 杉



村の鳥 めじろ

2~3月



曾爾高原の山焼き

4月



桜まつり

6月



鮎の解禁

8月



ぬるべの郷夏まつり

10月



門僕神社の秋祭り

10月



春日神社秋祭り

年間の 行事と イベント





the most beautiful
villages
in japan
「日本の美しい村」委員会

曾爾村村勢要覧

令和5年12月

発行：曾爾村役場 総務課

〒633-1212

奈良県宇陀郡曾爾村大字

今井495番地の1

電話 0745-94-2101

FAX 0745-94-2066

<https://www.vill.soni.nara.jp/>

